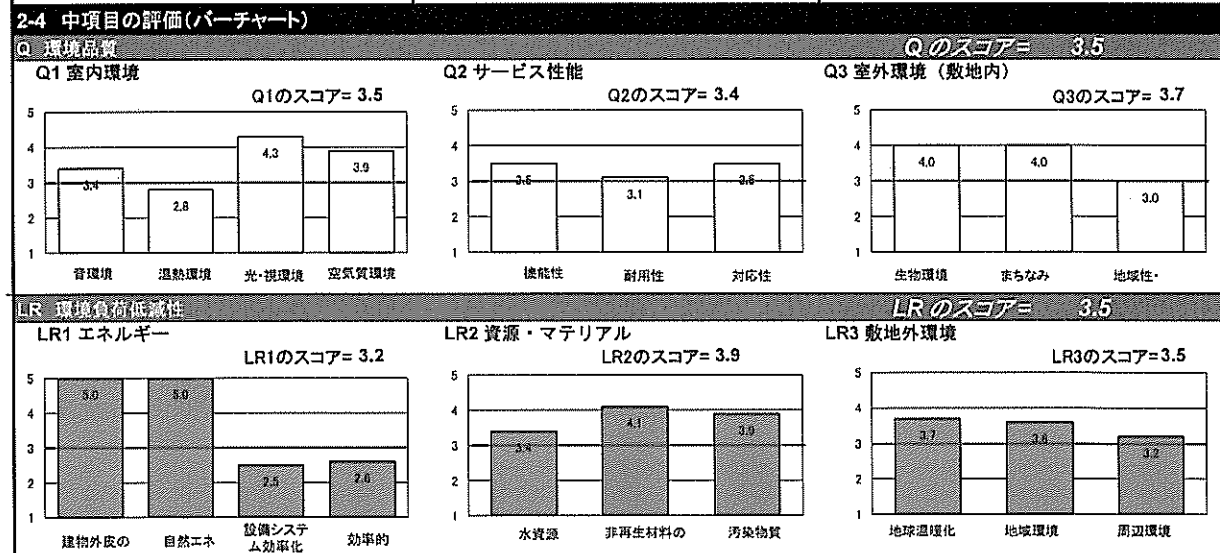
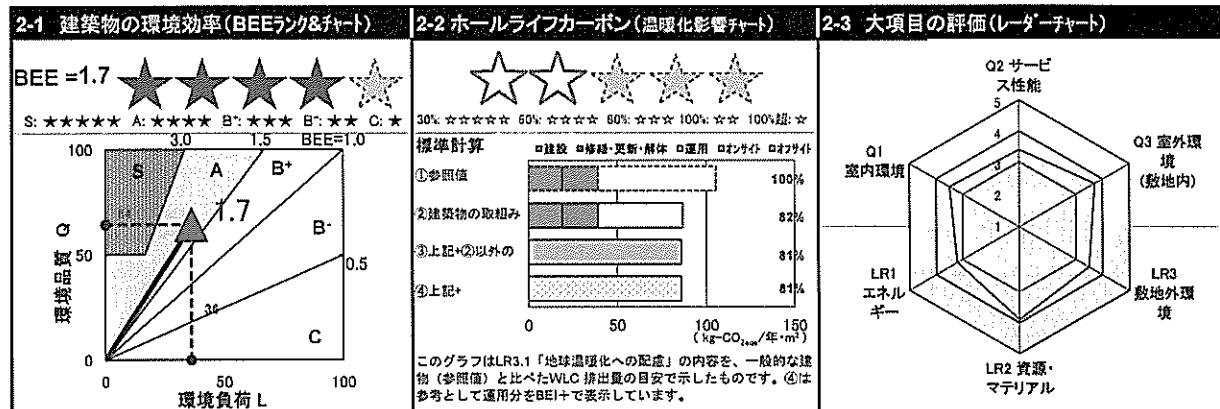
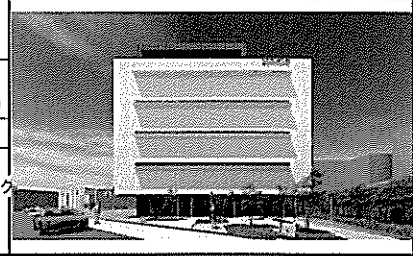


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2024年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	(仮称)新長岡京トーセビル建替計画		階数	地上6F、地下0F	
建設地	京都府長岡京市長岡一丁目441番、		構造	S造	
用途地域	近隣商業地域、準防火地域		平均居住人員	550 人	
地域区分	6地域		年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)	
建物用途	事務所		評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2027年12月 予定		評価の実施日	2026年6月24日	
敷地面積	1,555 m ²		作成者	株式会社イズミコンサルティング	
建築面積	851 m ²		確認日	2026年6月24日	
延床面積	4,588 m ²		確認者	株式会社奥村組	



3 設計上の配慮事項		
総合 京都府長岡京市に建設される自社事務所ビルの計画である。 外皮性能を高め、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。		その他
Q1 室内環境 ほぼ全面的にF★★★★の建材を使用し、室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	Q2 サービス性能 階高を高く確保し、壁長さ比率に余裕を持たせ、ゆとりのある計画とし、機能性にも配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽による修景等、良好な景観形成へ配慮した取り組みがある。
LR1 エネルギー 高効率な設備機器を採用することで、省エネルギーに配慮している。	LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用やリサイクル材、ユニット部材の採用で資源の保護に配慮している。	LR3 敷地外環境 燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。

■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される